

2019 年度「ユネスコ協会 ESD パスポート」

参加ユネスコ協会募集について

ESD パスポート事業は、地域の社会課題に取り組みながら世界的な視野を持ったグローバル人材を育てる通年事業です。

「日ユ協連 70 周年ビジョン」の重点目標の中にも「ESD の推進」が掲げられていますが、本事業は、グローバル・アクション・プログラム（GAP）で積極的にとりくむことが確認されている 5 つの優先分野のうち、「ESD への若者の参加の支援」と「ESD への地域コミュニティの参加の促進」を念頭においたものです。

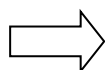
ESD では、児童・生徒たちが世界や地域社会の課題に目をむけ、これらを自らの問題として捉え、解決のために行動する力を育むことが求められています。本事業は、ESD パスポートをボランティア活動への参加のきっかけのツールとし、地域や世界が抱える課題を知り、自ら解決する行動力を育むことを応援するものです。また、ユネスコスクールの登録校が 1,116 校にまで増えた中、ユネスコ協会・クラブがユネスコスクールや地元の学校、そして他団体と連携を築きながら、ユネスコ協会・クラブの活動の場を広げることもねらいとしています。

2018 年度は全国の 31 のユネスコ協会が本事業に参加しました。参加を希望するユネスコ協会・クラブあてに、「2019 年度実施要項」をお送りしますので、次ページの申込書をご活用ください。

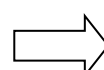
なお、本事業は、グローバル・アクション・プログラム（GAP）の最終年である 2019 年度で現行での実施方法を終了します。2020 年度からは SDGs（持続可能な開発目標）を意識した形にリニューアルいたします。2020 年度以降の変更点につきましては、3 ページをご覧ください。



ESD パスポートを持って
地域のボランティア活動に参加。
パスポートに活動を記録。



地域でのボランティア活動の
時間数によってボランを獲得



体験発表会に参加（年 1 回）
30 ボランで「活動認定証」授与

ユネスコ協会 ESD パスポート事業とは

- ① ユネスコ協会・クラブがユネスコスクール等の学校を通じて、児童・生徒に ESD パスポートを発行し、ボランティアに参加することを促進します。
- ② ボランティアの機会は、ユネスコ協会・クラブの活動およびユネスコ協会・クラブが中心となり、学校や地域の市民団体などによびかけ、協働で提供します。
- ③ ボランティアをするとパスポートに認定単位を証明、ボランティア単位が基準に達するとユネスコ協会・クラブが「活動認定証」を対象の子どもたちに発行します。
- ④ ユネスコ協会・クラブは、ESD パスポート体験発表会（年 1 回）を実施（高校は必須）し、子どもたちに ESD パスポートを使ったボランティア体験による子どもたちの学びを共有する場を作ります。

■ ESD パスポートが認定するボランティア活動：

「地域・社会の課題解決にむけて、無償で自ら進んで人の役に立とうという地域社会（学校外）での奉仕活動」が対象となります。

■ 参加対象：

ESD パスポートは、「児童・生徒が自発的に地域社会に飛び出して、持続可能な社会を作るためのボランティア活動に参加する」ツールです。そのため、学校（学校の主導の下）で行われる教育活動とは別の、児童・生徒による地域社会での自主的なボランティア活動ととらえています。

そのため、小学校（4年生以上）、中学校、高校のうち、特に高校生を事業の対象として推奨します。

■ 対象校： ユネスコスクール登録校、ユネスコスクール申請校

ユネスコスクール以外の学校での実施をご希望の場合は、

- ① ESDの推進拠点であるユネスコスクールを優先的にお声がけするようにしてください。
- ② 世界寺子屋運動や各種コンテスト事業などの各種事業を通じて、日頃、ユネスコ協会・クラブと関係の深い学校など、将来的にユネスコスクールに申請することを念頭にしてくださる学校を対象とします。

2019年度実施要項 申込書 締切：2019年3月11日

(注) 本申込書は児童・生徒に配布するパスポート数をお伺いするものではありません。参加のお声を学校にする際にお渡しする実施要項の必要部数をお伺いするものです。お声がけする学校数を目安にご記入ください。

実施要項希望部数	実施要項	部希望
送付先住所	〒	
ユネスコ協会・クラブ名		
ご担当者名		
ご担当者連絡先電話番号		
ご担当者連絡先電子メール		

送付先・問い合わせ先：日本ユネスコ協会連盟事務局 事業部 古澤

Tel.03-5424-1121 FAX03-5424-1126 電子メール：teacher-esd@unesco.or.jp

2020 年度以降の変更点について

ESD グローバル・アクション・プログラム (GAP) の一環として行ってきた本事業は、2019 年度の GAP 最終年を機に、現行の「ESD パスポート」は終了となります。2020 年度以降は、これまでの「ESD パスポート」事業の成果を引継ぎ、発展的な形で事業をリニューアルします。

(1) 概要

主催： 各地ユネスコ協会・クラブ（以下ユ協）

後援： 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

事業名：「ユネスコ協会 ESD パスポート for SDGs」（仮称）

対象： 小学校（4 年生以上）、中学校、高校

内容： ユネスコスクールとユ協の連携強化の一環として「ユネスコ協会

ESD パスポート」の活用により、SDGs のゴール達成にむけて、課題解決を意識した児童・生徒のボランティア活動への参加を促し、地域や世界の課題に自ら考え行動する機会を提供します。

高校生については、各地ユ協の青年部の活性化も視野に入れ、体験発表会の開催を奨励し、日ユ協連会長名で活動認定証を発行する。小・中学生に対しては、各ユ協から活動認定証を発行し、学校や地域におけるユ協の認知度をさらに高めます。

(2) パスポートの印刷について

これまでは、連盟で印刷したものを配布してまいりましたが、2020 年度以降は、印刷用の版を日ユ協連がユ協に提供し、ユ協で印刷していただくこととなります。（パスポートにユ協名、ユ協連絡先や地元の協力企業・団体名等の印字が可能となり、配布冊数もユ協にお任せすることとなります。）

(3) 現行との比較

	現行(2019 年度まで)	2020 年度以降
ルール	学校外のボランティア活動	学校外のボランティア活動（変更なし） ボランのカウント方法 変更なし 有効期間 3 年 変更なし
パスポート	連盟から提供	連盟から提供するデータを元に、ユ協で印刷
活動認定証	連盟から提供	① 小学校・中学校：ユ協名で発行（印刷用データを連盟からユ協に提供） ② 高校：連盟名で発行
体験発表会	小・中学校：任意 高校：必須	③ 小・中学校：任意 ④ 高校は開催を奨励